

政策番号	21	政策分野	土地利用と都市機能配置
------	----	------	-------------

基本方針	人口減少や少子高齢化，低炭素社会実現への対応などの社会動向を見通し，都市を効率的に経営する視点をもちながら，「保全・再生・創造」の都市づくりを基調として，地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的，かつ秩序ある土地利用の展開や，地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図ることにより，さまざまな都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現する。
------	---

担当局	都市計画局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン，京都市持続可能な都市構築プラン，京都駅南口周辺地区まちづくり指針，京都市商業活性化アクションプラン2011，京都観光振興計画2020，新・京都市南部創造まちづくり推進プラン，らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム，らくなん進都まちづくりの取組方針，職住共存地区整備ガイドプラン
----------------	--

## 政策の評価

### 1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 30	令和 元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	交通拠点周辺の集客的土地利用の割合(%)	28.6	29.3	b	a	29.2	29.6	29.3	101.0%	a
2	田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積(百㎡)	48,084	49,339	b	a	49,339	50,626	49,339	102.6%	a
3	製造品出荷額等に占める南部地域の割合(%)	56.6	59.0	a	a	60.8	59.3	59.0	100.5%	a
4	地区計画，建築協定及び景観協定の締結数(件)	126	155	d	a	141	147	4件増	150.0%	a
5	景観・まちづくりに関する相談件数(件)	954	-	b	c	871	805	795	101.3%	c
				b	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
2101	便利でくらしやすい生活圏づくり(1指標)	b	a	a
2102	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり(1指標)	b	a	a
2103	創造を続ける南部地域のまちづくり(1指標)	d	a	d
2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり(1指標)	d	a	a
2105	まちづくりを支えるしくみづくり(2指標)	c	b	b
(5施策平均)		c	a	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価：施策の客観指標評価=1:0.5)	平成30	令和元	令和2
	b	a	a

### 2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2 <sup>※</sup>
1	買物などの日常生活には，徒歩や自転車，公共交通が便利である。	a	b	-
2	田の字地域(河原町通，烏丸通，堀川通，御池通，四条通，五条通の幹線道路沿道地区)や京都駅の周辺は，にぎわいのある魅力的な地域である。	a	a	-
3	京都のまちの南部地域が発展してきている。	b	b	-
4	身近な地域が魅力的になっている。	c	c	-
5	身近な地域で，自主的なまちづくり活動が進んでいる。	c	c	-

政策の市民生活実感調査総合評価	b	b	-
-----------------	---	---	---

### 2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度 <sup>※</sup>	
順位	%	順位	%	順位	%
26	70.5%	25	69.3%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	政策の目的がかなり達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・客観指標は、「交通拠点周辺の集客的土地利用の割合」や「田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積」等、指標がa評価を維持しており、客観指標総合評価は昨年度に続きa評価となった。また、市民生活実感総合評価がb評価で推移しており、一定の評価を得ていることなどから、総合的に判断して、当該政策の目標は、かなりの程度達成していると評価できる。

※田の字地域：河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通の幹線道路沿道地区

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
2101	便利でくらしやすい生活圏づくり	A	B	B
2102	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり	A	A	A
2103	創造を続ける南部地域のまちづくり	C	A	C
2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり	C	B	B
2105	まちづくりを支えるしくみづくり	C	C	C

<今後の方向性>

①便利でくらしやすい生活圏づくり

・引き続き、公共交通の拠点周辺へ都市機能の集積や充実を図るため、令和2年度については、地域ごとに土地利用の動向や人口の動態等を経年的に把握・分析し、必要な施策の検討を行う。

②商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり

・地区計画等の都市計画手法を活用した取組や事業者によるにぎわい創出の取組を支援し、商業振興施策や観光振興施策とも連携を図りながら、にぎわいのある魅力的なまちの実現を目指す。

③創造を続ける南部地域のまちづくり

・先導地区として位置付けるらくなん進都において更なる企業集積を促進するため、令和元年度から対象事業を拡大している土地所有者奨励金制度により、土地所有者への土地活用意向を喚起するとともに、市場ニーズに精通する不動産事業者等とも連携し、企業用地の創出を進め、更なる企業立地を図る。  
 ・その他、公共交通の利便性の向上に向けた取組、らくなん進都地区の魅力発信、らくなん進都内の企業交流イベント等を行い、企業の進出意欲を高める。

④市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり

・今後も、より「身近な地域が魅力的になっている」と市民に実感していただけるよう、魅力的なまちの実現に向けて、都市計画手法の活用を含む多様な施策を総合的に推進するとともに、地域住民に身近な区役所とも連携しながら、市民のニーズを的確に把握し、各地域特性を活かした個性豊かで魅力的なまちづくりを地域住民と共に進める。  
 ・(公財)京都市景観・まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

⑤まちづくりを支えるしくみづくり

・自主的なまちづくり活動をこれまで以上に進めるため、地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、(公財)京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくりに関する情報提供、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。

政策名	21	土地利用と都市機能配置
-----	----	-------------

指標名	交通拠点周辺の集客的土地利用の割合（％）
-----	----------------------

担当部室	都市企画部	連絡先	222-3505
------	-------	-----	----------

**1 指標の説明**  
 地下鉄駅及び京都市都市計画マスタープランに位置付けのある拠点駅周辺（500m程度）エリアにおける建物延床面積合計のうち、商業・業務等の集客施設の延床面積合計の占める割合

**2 指標の意味**  
 便利でくらしやすい生活圏づくりに向けて、交通拠点周辺の集客的土地利用の割合を示す指標

**3 算出方法・出典等**  
 土地利用現況調査を基に数値を算出

**4 数値**

10年後（令和2年度）の目標値	平成25年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	28.6	29.3	京プラン実施計画 第2ステージ

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	29.2	29.6	0.4ポイント増	29.3	令和2年度に29.3%になることを目指して設定	101.0%

全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	29.3%	令和2年度	101.0%	令和2年度に29.3%となることを目指して設定

備考  
 最新数値は前年度のデータを用いて算出するため、1年遅れとなっている。

**5 評価基準**  
 単年度目標値に対する達成度が  
 a：100%以上  
 b：99%以上100%未満  
 c：98%以上99%未満  
 d：97%以上98%未満  
 e：97%未満

**6 基準説明**  
 単年度目標値の達成度が100%以上の場合を最高のaとし、以下1%刻みでb～e評価

**7 評価結果**

平成30	令和元	令和2
b	a	a

指標名	田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積（百㎡）
-----	--------------------------------

担当部室	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
------	------------	-----	----------

**1 指標の説明**  
 田の字地域や京都駅周辺などの都心部の、商業・業務施設の延べ床面積

**2 指標の意味**  
 にぎわいあるまちづくりに向けて、田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積の増減を示す指標

**3 算出方法・出典等**  
 出典：土地利用現況調査資料

**4 数値**

10年後（令和2年度）の目標値	平成26年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	48,084	49,339	平成15年度以降で最も高い数値

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	49,339	50,626	1,287百㎡増	49,339	過去10年の最高値（平成29年度）	102.6%

全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-		-		最新数値は前年度のデータを用いて算出するため、1年遅れとなっている。

**5 評価基準**  
 単年度目標値に対する達成度が  
 a：100%以上  
 b：99%以上100%未満  
 c：98%以上99%未満  
 d：97%以上98%未満  
 e：97%未満

**6 基準説明**  
 ・過去10年（平成20～29年度）で最も高い数値と比較し100%以上であればa評価  
 ・以下1%刻みでb～e評価  
 最高値49,339（平成29年度）

**7 評価結果**

平成30	令和元	令和2
b	a	a

政策名	21	土地利用と都市機能配置
-----	----	-------------

指標名	製造品出荷額等に占める南部地域の割合（％）	
-----	-----------------------	--

担当部室	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
------	------------	-----	----------

**1 指標の説明**

市域全体の製造品出荷額等に占める南部地域企業の製造品出荷額等の割合

**2 指標の意味**

南部地域においてもものづくり企業が集積していることを示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：工業統計調査，経済センサスー活動調査

**4 数値**

10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	56.6	59.0	過去10年間（平成11～20年）で最も高い数値に設定

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	平成28年度	平成30年度		数値	根拠	
数値	60.8	59.3	1.5ポイント減	59.0	令和2年時点の目標値59%を達成するため、平成20年時点の54.3%から毎年0.5%ずつ増加させる。	100.5%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値	-			-

備考  
最新数値は前年度のデータを用いて算出するため、1年遅れとなっている。

**5 評価基準**

最新数値が  
a：単年度目標値以上  
b：単年度目標値未満～平均値超  
c：平均値  
d：平均値未満～最低値超  
e：最低値以下

**6 基準説明**

当該指標は過去からの推移によって評価されるべきものであるため、単年度目標値以上のものをa、過去10年間（平成11～20年）の平均値以上をc、最低値以下をeとし、各基準を設定した。  
平均値 49.8%（平成11～20年）  
最低値 37.7%（平成11年）

**7 評価結果**

平成30	令和元	令和2
a	a	a

指標名	地区計画，建築協定及び景観協定の締結数（件）	
-----	------------------------	--

担当部室	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
------	------------	-----	----------

**1 指標の説明**

地区計画，建築協定及び景観協定の締結数

**2 指標の意味**

地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：事業担当課調べ

**4 数値**

10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	126	155	全学区（222）で平均一つの取組を目指しており、令和2年度までの目標値は155件とする。

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	
数値	141	147	6件増	4件増	令和2年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（平成23年度から155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	150.0%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値	-			-

備考

**5 評価基準**

前回数値と比較し、  
a：4件以上増  
b：3件増  
c：2件増  
d：1件増  
e：0件以下

**6 基準説明**

・単年度目標値を達成すればa評価  
・以下1件刻みでb～e評価  
※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。

**7 評価結果**

平成30	令和元	令和2
d	a	a

政策名	21	土地利用と都市機能配置
-----	----	-------------

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）
-----	---------------------

担当部室	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
------	------------	-----	----------

### 1 指標の説明

（公財）京都市景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数

### 2 指標の意味

市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

### 4 数値

10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	954	-	-

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	
数値	871	805	66件減	795	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	101.3%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-			-	

備考	
----	--

### 5 評価基準

目標数値と比較し、  
a：130%以上  
b：110%以上130%未満  
c：90%以上110%未満  
d：70%以上90%未満  
e：70%未満

### 6 基準説明

・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定  
・20%刻みでa～e評価

### 7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	c	c